

「東海村合同就職説明会・面接会」の 参加企業を募集します！

村では、一般求職者(高校生を除く)の就職支援および企業の人材確保を目的とした「東海村合同就職説明会・面接会」への参加企業を募集します。ぜひご応募ください。

日時▼10月7日(木) 午後2時～

場所▼東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」

募集企業▼15社 ※応募多数の場合は選定を行います。

応募要件▼村内に事業所を有し▽常用雇用を予定している▽ハローワークで求人募集をしている——を満たす企業

その他▼新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となる場合があります。

申し込み・問い合わせ▼産業政策課(役場行政棟2階) 備え付けの申込書に必要事項を記入の上、8月13日(金)までに、ファックスまたはメールで、産業政策課産業政策推進担当(☎282-1711 内線1268 FAX282-2145 ☒sangyou@vill.tokai.ibaraki.jp)へ申し込みください。※申込書は、村公式ホームページからもダウンロードできます。

ふるさと歴史訪
〜自然を探して〜

博物館として、活動拠点として…

「歴史と未来の交流館」でできること

歴史と未来の交流館副館長(博物館長)

安嶋 隆

7月24日に開館した「歴史と未来の交流館」(以下、「交流館」)。皆さんは、この交流館でどんなことができると思いますか。

東海村では、村内の自然環境について、およそ10年を一区切りとし、平成2年から30年までの間、継続的に総合調査を実施してきました。その間、私は調査員の一人として「東海村の自然」、「東海村の自然誌」、「東海村の自然誌Ⅱ」の3回の報告書の作成に携わり、村内に生育している動植物の実態を記録することができました。これまでの活動により、村内の自然環境の変化を身近に感じているつもりですが、記録の普及活動については、まだまだ不十分であると感じています。

村内には、自然に関心を持ち自然観察を続けている多くの方がいるにもかかわらず、これまで、これらの記録を蓄積できる施設がありませんでした。しかし今は交流館が、これらの活動をサポートする拠点を担うと同時に、データセンターとして活用できたらと考えています。



【令和元年度 まる博講座「この草ななに？」より】

このほか、交流館は博物館機能の一つとして、「自然」と「歴史」の両面から描く「自然環境の上に成り立つ歴史」を展示するとともに、「人と人のつながり」を育むという重要な機能を併せ持つ「未来を見据えた」施設を目指します。

今後、村内の自然や歴史、民俗などの文化財を村民の皆さんと共有できる情報・活動センターを目指し、村全域を屋根のない博物館と見立てて、歴史や自然を体感する取り組みである「とうかいまるごと博物館(まる博)」や、主に小中学生を対象に、科学実験や野外活動、工作等さまざまな体験プログラムを提供する「とうかい子ども

キャンパス(Tキャン)」など、各種講座や観察会を開催していきます。これらの活動を通して「交流館に問い合わせれば、村内の自然や歴史に関することならどんなことでも解決できる」というイメージが定着するよう、職員一同、努力していきたいと思っています。皆さんのご来館をお待ちしています。